《日枝中の生徒に育成すべき資質・能力》　自ら探究する力
～自らの学びを振り返り、次の学びへと向かって粘り強く取り組む力～

【美術科で目指す生徒の姿】
思いや願いの実現に向けて自分で表現方法を選び、試しながら表現（挑戦）を続ける姿

【本題材の評価規準】

「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に取り組む態度」
知形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 技材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。	発マーケティングに関する５Ｗ１Ｈや、伝える目的や条件などを基に伝える相手や内容、社会とのかかわり、機知とユーモアなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和と総合的に考え、表現の構想を練っている。 鑑伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	態表美術の創造活動の喜びを味わい主体的に買う人の気持ちや機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作者の心情や表現の意図と創造的な工夫、生活と美術との関りなどについて考えるなどの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【指導と評価の計画】（１１時間）

●学習のねらい・学習活動	知･技	思	態	評価方法・留意点等
1　鑑賞（２時間） ●高山の魅力について考える。 高山のよさや魅力、伝統工芸、町の歴史や特徴などからどのようなよさがあるか考える。 土産物や商品、伝統工芸品にも目を向け、それらのよさやパッケージのもつ役割について考え、交流する。 ●自分たちが住む高山の商品に着目し、自分が好きな食品や商品を提供するとしたらどんなパッケージがいいのか考える。 既存の商品、新開発の商品どちらでもよいものとする。	知	鑑	鑑態	知 造形的な特徴などに着目して、伝達のデザインにおける意図を理解しているか見取り、できていない生徒に対して形や色などの効果を具体的に示しながら指導を行う。【発言の内容，ワークシート】 鑑 パッケージの表現と創造的な工夫などについて考えているかを見取り、見方や感じ方が深まらない生徒に対して〔共通事項〕の視点をもたせて作品を鑑賞させるなどの指導を行う。【発言の内容，ワークシート】 鑑態 伝達のデザインに興味や関心をもち、形や色などの性質などを理解しようとしたり、調和のとれた洗練された美しさを感じ取ろうとしたり、パッケージの表現や創造的な工夫などについて考えているかを見取り、見方や感じ方が深まらない生徒に対して〔共通事項〕の視点をもたせて作品を鑑賞させるなどの指導を行う。【ワークシート,活動の様子】

			態鑑	鑑　伝達のデザインに対する見方や感じ方を深められたかどうかを評価する。【ワークシート,活動の様子】 態鑑　主体的に伝達のデザインの形などの効果や全体のイメージで捉えながら、見方や感じ方を深めようとしているかを評価する。【ワークシート,活動の様子】
2　発想や構想（3時間） ●主題を生み出す。 ・誰に（地元の人、観光客）どんな商品のどんなよさを伝えたいのか考え、構想を練る。 子どもに　みだらしだんご 観光客に　　ほおばみそ 観光客　　一位一刀彫 ●構想を練る。 ・創出した主題を基に、色や形などが感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどとの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練る。 ・商品名やロゴを考える。 既存の商品→ロゴを自分流に 新商品→商品名とロゴ ・レイアウトを考える。 イラスト、ロゴを組み合わせる。 色、形、大きさ、配置など			態表 態表	発 伝える相手や伝える商品のよさなどから主題を生み出せているかどうかを見取り、主題が生み出せていない生徒に対して、伝える相手や伝える商品のよさについて確認させたりするなどの手立てを講じる。【アイデアスケッチ】 鑑態　主題を生み出そうとする態度を見取り、主体的に活動できていない生徒に対して、鑑賞の学習での内容について振り返りさせたり、伝える相手や伝えたい商品の特徴やよさなどを具体的に考えさせたりするなどの指導を行う。【アイデアスケッチ，活動の様子】 発　主題を基に色や形などが感情にもたらす効果や分かりやすさと美しさなどとの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っているかどうかを見取り指導する。構想が練れていない生徒に対して再度主題を確認させたり、伝える相手や内容、〔共通事項〕との関連を考えさせたりする。【アイデアスケッチ，ワークシート】 鑑態 主体的に構想を練ろうとしているかを見取り、できていない生徒に対して、鑑賞の活動での様々なパッケージデザインの意図や表現の工夫などについて色や形の性質などの視点から再度考えさせる。【アイデアスケッチ，活動の様子】 発 伝える相手や内容などから主題を生み出し、色や形などが感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどとの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っているかどうか暫定的に評価する。【アイデアスケッチ】 態表主体的に知識を活用しながら発想や構想の学習活動に取り組もうとする態度を評価する。【アイデアスケッチ，活動の様子】

3　制作（5時間） ●発想や構想を基に、意図に応じて表現方法を創意工夫し、見通しをもって表す。 ・商品名やロゴ、模様やイラストなどを意図に応じて表す。 ・色や形などが感情にもたらす効果を生かし、色や配置、全体のバランス、パッケージの素材などを考えて表す。 ・制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表す。 ・制作の途中に鑑賞を行い、客観的な視点に立って他者の作品を見たり自分の意図を説明したりすることにより、表したいものをより一層明確にしていくなどしながら作品を完成させる。	技 ↓ 知・技	発	態表 ↓ 態表	技 主題を基にパッケージの素材や画材などを選び、色や形などが感情にもたらす効果を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して表す。制作順序などを総合的に考えながら表しているかどうかを見取り、できていない生徒には、発想や構想を確認させたり、他の生徒の作品を紹介するなどして表現の表し方の工夫について考えさせたりするような指導を行う。　【制作途中の作品】 態表主体的に表現方法を創意工夫しようとしたり見通しをもって表そうとしたりしている態度を見取り、できていない生徒に対して素材や商品名のレタリング、画材などを相談しながら表現の意欲を高めるような指導を行う。【製作途中の作品】 発 この段階で構想などがまとまらない生徒を中心に見取り、指導を行う。 【製作途中の作品】 知・技 作品から、意図に応じて表現方法を創意工夫して表しているかなどを見取るとともに、色や形などの効果や全体のイメージで捉えることを理解していることを併せて見取り、知と技を知・技として一体的に評価する。【作品，アイデアスケッチ，ワークシートなど】 態表 主体的に制作に取り組み、色や形などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとし、見通しをもち、意図に応じて工夫して表そうとしている態度を評価する。【作品・活動の様子】
4　鑑賞（1時間） ●生徒作品を鑑賞する。 ・パッケージデザインの作品を鑑賞し、主題や意図をもとにした表現について感じたことや考えたことを話し合い、見方感じ方を深める。	知 ↓	鑑	態鑑 ↓ 態鑑	知　色や形などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しているかどうかを見取り、できていない生徒に対して具体例を示すなどの指導を行う。 【発言の様子,ワークシート】 鑑 態鑑　作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えることなどができているかどうかなどと、取り組む態度とをそれぞれ見取り、できていない生徒に対して主題から作品を見つめさせたり、作者の心情について考えさせたりするなどの指導を行う。【発言の様子、活動の様子，ワークシート】

				態鑑 主体的に作品を鑑賞し，色や形などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとし、造形的なよさや美しさを感じとろうとしたり、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えようとしたりしているかどうかを評価する。 【活動の様子，ワークシート】